

第2号

『古事記』特集号

2012年4月1日

ソムリエの風

奈良まほろばソムリエ友の会会報紙

発行
奈良まほろばソムリエ友の会
ソムリエ広報部会

〒630-8226
奈良市小西町2 アカダマ内

講演会・交流会開催

2月18日(土)午後1時15分から奈良商工会議所大ホールで講演会・交流会が開催され、87名の方が参加されました。

■講演「奈良県の記紀・万葉プロジェクト」



奈良県観光局 ならの魅力創造課
課長補佐 谷垣裕子氏

「赤墨と青墨」の話から始まり、観光行政の考え方、記紀・万葉プロジェクトの紹介、『なら記紀・万葉名所図会—古事記編—』で奈良を楽しむ話など、本物の古代に

出会い、本物を楽しめる奈良を目指した活動を広げたいという郷土を愛し奈良を思う谷垣さんの熱い思いが語られました。

■講演「記紀を楽しむ」



奈良県観光ボランティアガイド
連絡会会長 木村三彦氏

記紀の味わい方については「記紀は読み下し文で読んでほしい。現代語訳は話の筋が判るかもしれないが、記紀を理解し古代に思いを寄せるためには読み下し文が大切である」と強調され、奈

良を舞台にした『古事記』、『日本書紀』の代表的な個所を講演されました。

■交流会

会の発足から8カ月。会員の皆さんが仲間と語りあい、交流できる機会としての交流会を開催。粉雪の舞う厳寒日となったが多く、の会員が参加し、サークル活動の話や地域の情報交換などで親睦を深めました。



交流会参加の女性会員の方々

『古事記』とは

『古事記』成立は、同書の序によれば、天武天皇が諸家の伝承が乱れてきたのを憂いて、稗田阿礼に帝皇日継(帝紀)と先代旧辞(本辞)を誦^よみ習わせたことに始まります。その後元明天皇が太安万侶に阿礼の言葉を撰録・献上させたのが和銅五(712)年のことです。

構成は上・中・下3巻に分かれ、上巻は天之御中主神から鵜葺草葺不合命(神武天皇の父)、中巻は神武天皇から応神天皇、下巻には仁徳天皇から推古天皇までのことが年代順に記されています。素材としては上巻が殆ど本辞から、中下巻が主に帝紀から採られています。それは、国創り神話を題材に立体的な構成の上巻に対し、中下巻は天皇の皇居、在位年数、后妃皇子女、重要事件、御陵所在などを平面的に列記していることからわかります。

また森浩一同志社大学名誉教授も指摘しているように中下巻の区切りを古墳形式など考古資料から連続性が認められる応神・仁徳の間に設定したことも当時の皇統認識を反映しており、注目すべき点です。

表現の方法としては安万侶が序で述べているように音訓交用を採用していますが、歌謡はすべて字音のみで著し、語順を一部国語に変えるなど独自の漢字による日本語表現を試みています。

以上のように『古事記』は8世紀初頭に成立した我が国現存最古の書物であり、私たちにとってかけがえない神話の宝庫です。

(ソムリエ広報部会 宮下 清)

それぞれの『古事記』

記紀と私

奈良県観光ボランティアガイド

連絡会会長 木村三彦

『古事記』は 2012 年の今年、『日本書紀』は 2020 年が完成 1300 年に当たります。奈良県では、その間、長期にわたって「記紀・万葉プロジェクト」として様々な行事が計画されています。

私の年代にとって、記紀は戦前の苦々しい経験から、ともすれば触れたくない抵抗ある存在でしたが、記紀に興味を持ち始めたのは、今から 30 数年前、40 歳の頃でした。10 人ばかりの近所の仲間が集まって、その成立の歴史的背景などは兎も角、記紀を読もうということになり、月 2 回のペースで輪読会をすることになったのが、そもそもの始まりでした。

『古事記』からスタートして『日

本書紀』に進みましたが、『古事記』2 年、『日本書紀』は 7 年かかるという実に根気のいる息の長い取り組みでした。とにかく最初でもあり、素人ばかりの集まりだったので、難しいことは考えずにストーリーを楽しむということに徹して輪読しました。難解でも古典の良さがわかる『岩波日本古典文学大系 古事記・日本書紀』の読み下し文を用い、なるべく現代語訳は見ない様、心がけました。難解な読み下し文も慣れれば少しずつですが、わかってくるものです。同時に休日には、記紀に登場する県下の遺跡や伝承地をこまめに訪れましたが、現地に立つと読んだ内容がイメージ化され、記紀を肌で感じる事が出来、理解が倍化したと思います。頭の中だけの知識だけではダメ

で、現地を見るとということが如何に大切かということでしょう。

数年の後、二度目の輪読に挑戦しましたが、最初に比べて理解を深めることが出来ました。しかし幅広く奥深いので、なお難解な部分が多く、まだまだ勉強不足を痛感しています。

定年後、橿原・飛鳥の観光ボランティアガイドに参加して今年で 12 年になります。年間約 100 日、回数にして 1100 回を超えるガイドの中で、これまで不十分ながらも、楽しみ学んできた記紀の知識が大変役立っています。奈良県は記紀に関係する遺跡や伝承地が大変多い所です。皆さんもぜひ記紀に挑戦して欲しいと思います。



『古事記』が描いた山辺の道

雑賀耕三郎

奈良盆地の東縁を東海自然歩道が縫う。なかでも桜井の三輪から天理の石上神宮にかけての山沿いの道は山辺の道と言われて名高い。古代、奈良盆地には南北に上ツ道・中ツ道・下ツ道の巨大な三道の直線道路があったが、それとは別に山辺の道があった。

『古事記』には崇神天皇の陵墓は「山邊(やまのべ)の道の勾(まがり)の岡の上」にあり」と書かれ、さらに景行天皇の陵墓は「山邊の道の岡の上」にあり」と記されている。現在の山辺の道はこの「勾」を生かして、崇神天皇陵の前を通り、大きく右に曲がり天理トレイル

センターに向かうようになっている。



素晴らしい景観の崇神陵

『古事記』が編纂された 1300 年前、西暦 712 年には山辺の道があったことは確実である。

その後、街道としての山辺の道の利用価値は薄くなり、農作業や山仕事のための村人の生活道路として使われてきたものと思われる。東海自然歩道としての整備

が始まり、1970 年代から利用者が激増したとみられる。

コース全体では、「紫は灰さすものぞ海石榴市(つばいち)の八十(やそ)のちまたにあへる子や誰」(巻 12-3101)と万葉集に歌われた古代の交差点から始まり、邪馬台国かと期待が集まる纏向遺跡、初期ヤマト政権の発祥の地としての景行・崇神陵から石上神宮に至るまで古代遺跡は幾多にのぼる。

桜の季節、新緑のゴールデンウィーク、紅葉の秋など四季を通して豊かな景観の山辺の道は多くのハイカーが毎日歩いている。



ウワナベ古墳>コナベ古墳 の手がかりが『古事記』に?!

広報部会女子会 辰馬真知子

奈良市法華寺町にあるウワナベ・コナベ古墳、国道24号線のバイパスがそのすぐ脇を通過しているのでご存知の方も多いことでしょう。周濠に満々と水を湛えた美しい古墳です。不思議な響きのこの名称は、ウワナベ＝うわなり（後妻） コナベ＝こなみ（先妻）の訛だと言われています。写真でもお分かりでしょうか、ウワナベ古墳の方が、コナベ古墳よりも大きいのです。広報中年女子部員は「先妻の墓よりも後妻の墓の方が大きいのか？」と疑問に思っていました。『古事記』にその手がかりがありました。

神武天皇（イワレビコ）が宇陀で地元勢力者 兄宇迦斯を打ち負かした際の宴で歌った歌の一部に「年増の古女房（＝こなみ）が食物を乞うたら、ソバノキの木のように実のない部分をそぎとって、ちよっぴりやればたくさんだ。若くかわいい妻（＝うわなり）が食物を乞うたらヒサカキの実のように沢山実のあるおいしいところを、いくらでもそぎとって



画像左より ヒシアゲ古墳(中央 上)・コナベ古墳・ウワナベ古墳
国土画像情報(カラー空中写真) 国土交通省より

やるがいいさ」とあります。この心穏やかでいられない歌は『日本書紀』にもみられます。古代より愛唱されてきた歌謡だったのでしょう（怒）。“年の差婚” “新しい妻” がもてはやされるのは、今も昔も変わらないのですね。

しかしながら女性のみなさん、このウワナベ・コナベ古墳の北西方向には磐之媛陵に比定される一ヒシアゲ古墳もあるのですよ。磐之媛は第16代仁徳天皇の皇后、古事記では「嫉妬深い皇后」として描かれています。男性の視点から見ると怖い女性に映るかもしれませんが、女性の視点からは決してただの嫉妬に狂った女性で

はないと感じます。仁徳天皇は“聖帝”と言われますが、華やかな女性関係でもよく知られています。一夫多妻制の時代に猛然と天皇の女性関係に真っ向から異を唱え、そして家出をして反対の意をあらわす、またある時には配下の者の道にそれた行いを糾し、厳罰に処する。こんなに自分の意思をしっかりと持ち、行動にうつせた女性がいたことに感心するのは。先述の歌に歌われている当時の女性像に対して、見事な返しをしてくれる磐之媛に思いを馳せながら、佐紀路の古墳散策を試みるのも一興ですね。



那賀須泥毘古（長髓彦）の 最期について

小北博孝

『古事記』編纂1300年の機会に、少しばかり『古事記』と『日本書紀』を読んでみました。

双方とも奈良時代の前半に成立した最古の歴史書ですが、その内容は大筋では似通っていても、よく読むとかなりの部分で異なっているところがあるようです。

その一つ神武東征における神武天皇と那賀須泥毘古（長髓彦）との最期の戦闘場面に関して『古事記』は殆ど触れていません。はじめの生駒山の戦いなどは詳しく出ており、五瀬命いつせのみことの命を奪ったほどの重要人物であるにもかかわらずその結末がはっきりしないのです。

しかし、『日本書紀』はさすが正史であるため、このことについ

て明確に記しています。神倭伊波礼毘古（『日本書紀』では神日本磐余彦）すなわち神武天皇は「何地に坐さば、平らけく天の下の政を聞こしめさむ。なほ東に行かむ」と言い九州の日向から大和に向かって攻めのぼって来るのですが、河内国草香邑青雲白肩之津くさかむらあおくもしらかたのつに着いたところで登美的那賀須泥毘古（『日本書紀』では長髓彦）と戦いになります。

ソムリエ交流部会

■サークルリーダー“今年度の抱負”

<歴史地理サークル>



豊田敏雄リーダー

今年度目指すのは、昨年実施した竜王山古墳群と南城跡や葛城古道などの思わぬ景色や歴史に浸ること。大津皇子の二上山や高取城跡などの歴史&ウォークと今井町から「茶の道」をキーワードに史跡・社寺などに繋げて行く。空海が茶臼と茶の種を持ち帰り広まった大和茶発祥の地・仏隆寺。今井の茶人今井宗久。茶道の祖・村田珠光。茶道にまつわる武人の松永久秀・織田有楽斎など。常に“Wander & Wonder”を求めて！

<社寺探訪サークル>



小林俊夫リーダー

昨年は発足の年であり、五里霧中のなかでの社寺探訪サークル活動でした。今年度は発展の年、参加したソムリエのメンバーが、ひとりでも多くの「奈良ファン」を創っていただきたいと思っています。サークルでは隠れた社寺・コースを見つけたいと思っています。それが、ソムリエの使命のひとつと自負し、リーダー以下6名「チームワークを大切に」を合言葉に、みなさんのさらなるご協力をえて進めたいと思います。

<奈良再発見サークル>



鈴木英一リーダー

昨年はエッセイストの中田紀子さんの「女達が守る寺」を軸に「道・石仏」を念頭に考えたコース選定でした。

今年度は、①伝達網の構築（中継点を設ける）⇒（面をカバーする）。②各地区のボランティアガイドと競合しないような、むしろ協働できる横断的・縦断的コースの発掘。③観光資源の活用のみではなく、保護・発展に貢献できる活動を目指します。

◆ソムリエ交流部会 からのお知らせ

- ・関東会員の会名称が「交流部会 関東サークル」となりました。
- ・「記紀万葉サークル」が田中昌弘リーダーのもとスタートします。

ソムリエサポート部会

ボランティアガイド・グループ に、応援よろしくお祈いします。

サポート部会のボランティアガイド・グループは現在 26 名で、9 月からの本格的なガイド活動に向けて準備活動を進めています。

2月26日より、「飛鳥・葛城古道・山の辺」の3コースでの実習を開始しました。1つのコースにつき3回の実習を重ねてガイドスキルの向上を図ります。5月に知人を対象に「モニターツアー」を行って率直なご意見を伺い、コースとガイド内容を改善した後、9月から本格的なガイド活動を開始します。

本格活動では、「友の会会員の県外の知人をお誘いするガイドツアー」のキャンペーンを展開したいと考えております。観光客誘致の具体的な実績を作ることは、友の会としても存在意義を示す活動になると思いますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

また、4月より第2期のガイドメンバー募集を行います。ぜひ私たちのガイド活動にご参加ください。

地域のボランティアガイドとの棲み分けや、より魅力あるコース作りなど課題は山積みですが、皆様に喜ばれるガイドグループ

を目指して、着実に向上したいと考えます。今後ともボランティアガイド・グループに、応援よろしくお祈いします。

ボランティアガイド・グループ
安井 永



コース実習風景（一言主神社参道）

事務局からのお知らせ

奈良まほろばソムリエ友の会では、県の「記紀・万葉プロジェクト」のスタートにあわせ、昨年6月、木村三彦さん(奈良県観光ボランティアガイド連絡会会長)を講師に迎え、役員有志による『古事記』読み下し文の輪読会をスタートさせました(最終的に5人が参加)。

6か月間、計10回で『古事記』を読み終えたあと、今度はひろく友の会会員にお声かけして、『日本書紀』の神武東征伝を4回かけて学びました(本年1~3月メンバーは35人)。4月からは、3回かけて崇神天皇紀(『日本書紀』)を勉強します。講師はいずれも木村

さんです。

この勉強会の延長として、木村講師のご案内で、1月には日下越道を歩き、3月には奈良県内にある神武天皇の聖蹟(7か所)すべてを訪ねるバスツアーを開催しました。交流部会の「記紀万葉サ



くさかさか
神武天皇聖蹟孔舎衛坂
顕彰碑前で(1月29日)

ークル」も発足しましたので、今後は、記紀にまつわるさらなる活動が期待されます。

～「友愛大賞」受賞～

奈良ロータリークラブが創立60周年を記念し、公益活動に取り組んでいる奈良市内・天理市内の個人・団体を対象に募集されていた「友愛大賞」で、奈良まほろばソムリエ友の会が友愛賞を受賞いたしました。

友の会では目下、観光・文化の面での社会貢献事業を目的として、友の会のNPO化への作業を進めています。(事務局長 鉄田憲男)

<編集後記>

今年は古事記完成1300年に当たり、奈良県では「記紀・万葉プロジェクト」として様々な行事が計画されています。ということで今号は、古事記に関連する硬軟取り混ぜた、会員の皆さんの投稿を掲載いたしました。

この広報紙は会員の皆さまのものです。今後も、どしどし原稿、ご意見をメール、手紙でお寄せください。

(郵便の宛先：〒630-8226奈良市小西町2 アカダマ内 メールアドレス：info@stomo.jp)

編集に当たったソムリエ広報部会員は以下のとおりです。(あいうえお順/敬称略)

大槻・窪田・小林(誠)・辰馬・鉄田・永井・中村・橋口・廣岡・二上・古川・宮下・武藤

奈良まほろばソムリエ友の会



事務局所在地：〒630-8586 奈良市登大路町36番地の2

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記(ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>

🐾 観光関連の方へ

奈良の観光案内には
奈良の今を伝える、観光サイト



<http://www.ima-nara.jp/>
をご活用ください!

✎ 奈良まほろばソムリエ友の会
会員様も「豆知識」コラム執筆中!

F Facebookをお使いの方へ

奈良のイベント情報は
「奈良へ行こう! Let's Visit Nara」
<https://www.facebook.com/visit.nara>
をご覧ください。



ぜひ いいね! を
押してください!

すでに4000人以上のFANがいる
人気Facebookページです!

🏢 企業の方へ

Facebookページを持ちたい、
効果的に運用したいなど
お気軽にご相談ください。



株式会社 ワイズスタッフ
TEL:0743-74-2012(担当:藤本)



株式会社ワイズスタッフ

Y's STAFF

<http://www.ysstaff.co.jp/>

〒630-0244

奈良県生駒市東松ヶ丘2-1-202

TEL 0743-74-2012 FAX 0743-74-2013

株式会社ワイズスタッフは奈良県委託事業
「奈良県就労困難者在宅就業支援事業」において
奈良まほろばソムリエ友の会と連携しています。